

平成 29 年度岡山県農林水産総合センター 森林研究所（林業研究室） 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 課題が、地域の要請に沿った実用的な試験研究とは少しかけ離れている気がする。特に、素材生産においては、各事業体が技術の研鑽を独自で行っている。現在必要なものは、公共建築物の木造化と施業の集約化であると思われる。事業体が現在直面している問題に向き合ってほしい。 2 今年、九州での豪雨災害では、増水に加え、流木による被害が大きく取り上げられていた。このことから森林管理による災害対策も今後注目されるのではないかと思われる。 3 妥当と判断される。特に、森林の若返りが進められる中、県が優良種苗の確保を行うとしていることは、将来のために優良な林分を造成する点で大変意義あることである。 4 運営方針と重点分野については非常に適切であり、社会的な要請に答えていると判断される。重点分野では、岡山県、岡山県各自治体、および企業が先進的に進めているCLT生産とバイオマスエネルギー利用に連携するような重点分野の設定も今後必要ではないか。 5 森林・林業に関する試験研究とその普及指導のほか、優良種苗の生産も行っており、県のニーズを概ねカバーできていると考えられる。 6 県土の7割を占める森林の多岐にわたる試験研究は重要なので頑張ってもらいたい。研究テーマも妥当である。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 人	妥当 4人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 若手職員の増員、試験研究費の増額がさらに望まれる。特に、GISやGNSS関係の機器は、日進月歩の技術の向上をみせている。常に、最新鋭の機器を使用できるよう、予算の増額、レンタルの活用などを考えてほしい。 2 研究費はもちろんのこと、情報収集及び成果発表のための予算も少ないが、全体の予算から考慮すると妥当である。興味深い研究が多いので、できれば全体予算の増額を県に望みたい。 3 中長期的には、年齢構成が偏らないよう、若手研究員の補充が望まれる。 4 研究推進と普及活動推進のためには若手研究員の数が少なく増員が必要。また、研究調査費、および試験研究事業費は極めて不足しているといわざるを得ない。これらの予算拡大によって課題研究の一層の推進、得られた有用な成果の公表、それによる岡山県の森林政策のアピールが期待されるので、これらの予算が大幅に増額されることが望ましい。財政的に厳しいことは理解できるが、これだけ森林の保全と利用の重要性が世界的に認められ、森林の劣化が経済活動にも影響することが分かっていることから、岡山県の見識が問われる。 5 対応すべき分野や業務量から、研究スタッフの数が足りているのか疑問。重点的に取り組むべき分野を中心に、むしろ増員すべきではないか。積極的に拡充するという意味での見直しが必要と考える。予算も、試験によっては十分かどうか疑問と思われる。外部資金の獲得については、他機関のノウハウなども参考に前向きに検討されたい。 6 専門職員の増と予算の増を望む。試験研究には、人、物、時が重要であるので、拡充するよう見直しをもらいたい。					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 2人	見直しが必要 3人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1 施設が古い。30年前と何ら変わりが無い。岡山県には未だ林業大学校の設立がなされていない。林業大学校の代わりになるように施設を改修し、人材育成の場として整備してもらいたい。 2 施設の設置年数がわからないが、沿革から察すると、老朽化が懸念される。また、研究に用いる設備も日進月歩であり、優れた研究成果を求めるには、最新の設備投入も必要と考える。 3 限られた予算の中で効率的に利用されていると判断される。 4 一定の水準には達している。施設の耐震性能や老朽化への配慮の必要性を重視されたい。 5 施設が広大すぎる感があり、要、不要の検討をしてはどうか。					
4 研究成果	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人

助言、指摘事項等

- 1 ある一定の成果は出ていると思われる。
- 2 限られた予算の中で、菌類や鳥獣対策など非常に興味深い研究成果が得られていると考える。
- 3 予算や人員が限られる中、解決すべき課題に取り組んで成果を積み重ねており、優れている。引き続き県民ニーズに応える課題への取組を進めてもらいたい。
- 4 限られた経費の中で有用な成果が出ている。それぞれの課題は事業期間後も継続することによってより有用で信頼性の高い成果が得られるので、それぞれの課題を継続されたい。そのためには、他研究機関との連携、共同研究の実施が重要になる。
- 5 様々な分野で多くの成果を上げている。成果のPRや普及は欠かせないので、発信方法やイベントの開催などに配慮されたい。
- 6 地道で長い研究により素晴らしい成果を上げていることに敬意を表する。

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 技術相談件数が増加傾向にあると記載されているが、森林・林業・木材関係者等から広く公募するだけでなく、異業種分野からの公募もさらに求めるべきである。新しい材料・技術を研究することにより、木材の新たな用途が生まれる可能性がある。
- 2 多くの技術相談に対応し、プレス等への発表・公表も積極的に行っており、優れている。
- 3 社会的な要請に応じて積極的に実施している。ただ、相談や普及の課題が特定の分野に偏っているように感じる。様々な分野で実施されるようにするため、様々な試験研究内容やその成果をアピールしていく必要があるのではないかと。そのためには、情報提供に関して、岡山県のHPで目立つようにする、あるいはプレスへの露出度を増やすような工夫があってもよいのではないかと。
- 5 多方面の技術相談、指導普及活動を行っており、一定以上の貢献をしていると思われる。件数は年によって変化するのが当然であるが、プレス発表等は重要なので、今後とも注力されたい。

6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
---------------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 若手研究員の育成にさらに力を入れてほしい。他県の取組などを知るために、他県へ出張するなど情報収集してほしい。
- 2 研修実施、学会や研究会への参加によって人材育成を図っていることは評価される。しかし、若手研究員の育成のためには、より一層の研究活動と学会参加が求められる。課題研究だけでなく、それぞれの専門性を生かして関係機関のプロジェクトにも積極的に参加できるような体制と雰囲気づくりが必要である。
- 3 研修や研究交流などを通じて人材育成に力を注いでいると認められる。
- 4 人材育成は、組織を問わず特に重要なので、予算を含めて今以上に取り組んでもらいたい。

7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
------------------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 異業種との連携・協力をさらに進めてほしい。今、捨てられている物の新しい用途を考えてほしい。
- 2 他機関との連携を積極的に行っており、優れている。今後も、このような取組を進めていただきたい。
- 3 他機関との連携は十分図られていると判断される。課題研究だけでなく、それぞれの専門性を生かして連携機関のプロジェクトにも積極的に参加できるようにしていくことが研究や技術開発の一層の推進につながると考えられる。
- 4 大学との共同研究、地域や全国の試験研究機関との連携協力の実績が認められる。森林組合や一般企業との連携も行うなど精力的である。
- 5 高校との連携、出前講座などに取り組んでどうか。

8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--------------------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 研究成果について、HPでの公表だけでなく、新聞・ネット等へのさらなるアピールを推し進めてもらいたい。
- 2 県民・地域へ貢献する取組を行っていることは理解できるが、もっとこれらを一歩アピールしてもよいのではないか。
- 3 様々な手段で成果を分かりやすく公表しており、優れている。成果発表会だけでなく、森林学習講座を開催していることは、県民に広く周知する点で、よい取組である。
- 4 様々な方法によってよく情報発信している。ただ、本当に県民全体に周知されているかといえは少し疑問符が付く。岡山県のHPでアピールするなどの工夫が必要である。
- 5 県民のニーズを的確に把握し、努力していると認められる。直接的な対応が難しい分野、内容に関しては、国研や大学などから情報を収集し「橋渡し」を積極的に行う方向を重視されたい。

9 前回指摘事項への対応

非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 外部資金の獲得に向けた努力は評価できる。環境税が導入されれば県民税を研究に使いやすくなると思われる。県民税を使った事業をもう少し考えてもよいと思われる。
- 2 それぞれの指摘事項に対して、よく対応しており優れている。
- 3 外部資金の獲得は引き続き積極的に試みてもらいたい。国あるいは企業等の団体からの助成金に対する申請も重要である。組織による申請だけでなく、可能であれば研究員による申請をしてもらいたい。このような助成金獲得の競争は激しく、採択はなかなか難しいが、申請をすることだけでも様々な研究や技術開発の位置づけと意義がより明確になり、研究方法の検討及び期待される成果の想定も進み、研究や技術開発の推進のみならず研究のアピール方法の検討にもつながる。
- 4 基本的に全ての指摘事項に対して前向きに、かつ積極的に対応しようとする姿勢が感じられる。

総合評価

非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

- 1 県民が安全で安心な生活が送れるような取組に邁進すべきである。生活といえば衣食住である。まずは住から。県産材を利用した安全で安心して暮らせる住まいを提供できるような技術の導入を図ってもらいたい。それには、製材工場に安定した原木の供給が必要である。素材生産の技術は各事業体が一流の技術を持っている。問題は、集約化された大きな団地の形成と、林業専用道、森林作業道の作設である。集約化と林業専用道が必要不可欠となることから、それに向けた研究を行ってほしい。
- 2 限られた予算及びマンパワーの中で、菌類や鳥獣対策など興味深い研究に取り組んでいることを評価する。これらの取組をもっと県民にアピールすることも大切と感じる。
- 3 県民にニーズに応え、わかりやすく成果を発信しており、県民生活になくはない機関であると考え。森林は、林業の成長産業化だけでなく、花粉症の少ない生活等、県民生活との関わりも深く、さらに課題への取組を進め、充実を図っていただきたい。
- 4 全体としては限られた予算の中で社会的な要請に応え尽力し有用な成果を出していることに対して敬意を表す。今後、森林の育成、利用、保全に関する事業推進では、単に行政機関の一部ということではなく、特色ある研究推進と技術開発によって研究集団、あるいは技術集団としても存在意義をアピールしてもらいたい。
- 5 少ない人員・予算の中で県民のニーズを的確に把握し、普及広報を含めてよく努力していると感じられる。外部資金の獲得については、難しい面もあることは承知しているが、様々な助成金等も含めて獲得を検討されたい。また、学会活動等は、県職員としての基本方針があると思うので一概に決められるものではないが、可能な範囲でハードルの高い活動にチャレンジすることを望む。
- 6 運営の基本方針に沿って、効率的、効果的に試験研究を行い優れた成果を上げている。